

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1年制)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	会話・発音(中級)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村 絵	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。		

《授業科目における学習内容》

毎回、発音練習も取り入れ、日本語の拍に注意しながら正しい発音とリズム感覚を身に付ける。囲た、シャドーイングも行い、聞き取りも強化する。  
モデル会話を覚える形からはじめ、次第に既習の語彙や文型を使って状況に応じた表現が自分で作れるようにする。  
前半では、日常での会話を練習し、後半には相手の立場に合わせた会話を練習する。

《成績評価の方法と基準》

1. 試験:70%
2. 出席:20%
3. 平常点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材:『日本語会話トレーニング』、『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』、『SHADOWING 日本語を話そう! 初級~初中級』、『ブラッシュアップ日本語会話』、オリジナルハンドアウト

《授業外における学習方法》

各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。

《履修に当たっての留意点》

会話は実際の状況で使えなければ、意味がありません。積極的に授業に参加し、様々な状況の会話を練習して、実際の場で使えるようにしましょう。発音もとても大切です。きれいな発音ができるように練習しましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	自分の名前や出身、趣味などを少し細かく言える。 名前を聞き間違えたとき、正しく伝えることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	発音練習(日本語のリズム、拍感覚) 自己紹介		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	行きたい場所への行き方を聞くことができるようになる。 長い音を理解して、違いを聞き取れるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	発音練習(発音練習(特殊音:長音) 道を聞く①		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	行きたいところがどこにあるかを聞くことができるようになる。 促音を理解して、違いを聞き取れるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	発音練習(特殊音:促音) 道を聞く②		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	道の聞き方を練習し、聞くことができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	発音練習(特殊音:拗音・撥音) 道を聞く③:練習		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	店で商品があるかを確認することができるようになる。 店で試着をお願いすることができるようになる。 母音が連続した言葉を聞き分けることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
	各コマにおける授業予定	発音練習(連母音・3拍1つの語) 買い物①		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	店で買い物ができるようになる。 縮約された言葉を聞き取り、理解できるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	発音練習(縮約形) 買い物②:練習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	アクセントを理解し、正しいアクセントで発音できるようになる。 病気の表現を学んで、使えるようになる。 自分の症状を説明できるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	発音練習(アクセント) 「病院」での会話		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	文で区切りやポーズの場所を見つけ、区切りやポーズを置きながら文を読むことができる。 電話で、用件を伝えられるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	発音練習(区切り・ポーズ) 電話のかけ方		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	アルバイトの面接のときの質問や答え方、態度、座り方などを学び、正しい態度や座り方で質問に応答できるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	シャドーイング① アルバイトの面接①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アルバイトの面接のときの質問や答え方、態度、座り方などを学び、正しい態度や座り方で質問に応答できるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	シャドーイング② アルバイトの面接②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手に合わせて、適切にしてもいいかを確認することができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	シャドーイング③ 許可①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手に合わせて、適切に許可を求められたときに返事ができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	シャドーイング④ 許可②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手に合わせて、適切に許可を確認し、返事ができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	シャドーイング⑤ 許可③		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手の立場に合わせて、依頼をする、受けることができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	シャドーイング⑥ お願いする①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	相手の立場に合わせて、返事ができるようになる。	使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。
		各コマにおける授業予定	シャドーイング⑦ お願いする②		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1年制)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	会話・発音(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担当教員	中村 絵	実務経験と その関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>毎回、発音練習も取り入れ、日本語の音に注意しながら正しい発音とリズム感覚を身に付ける。また、シャドーイングも行い、聞き取りも強化する。</p> <p>モデル会話を覚える形からはじめ、次第に既習の語彙や文型を使って状況に応じた表現が自分で作れるようにする。</p> <p>前半では、日常での会話を練習し、後半には相手の立場に合わせた会話を練習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 試験:70%</p> <p>2. 出席:20%</p> <p>3. 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>使用教材:『日本語会話トレーニング』、『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』、『SHADOWING 日本語を話そう! 初級~初中級』、『ブラッシュアップ日本語会話』、オリジナルハンドアウト</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>会話は実際の状況で使えなければ、意味がありません。積極的に授業に参加し、様々な状況の会話を練習して、実際の場面で使えるようにしましょう。発音もとても大切です。きれいな発音ができるように練習しましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	相手の立場に合わせて、適切にお願いをして、返事ができるようになる。		使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
	各コマにおける授業予定	シャドーイング⑧ お願いする③				
第17回	授業を通じての到達目標	相手や状況に応じて、表現を使い分けて、誘うことができるようになる。		使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
	各コマにおける授業予定	シャドーイング⑨ 誘う①				
第18回	授業を通じての到達目標	相手や状況に応じて、誘われた時に、適切に受け入れたり断ったりすることができるようになる。		使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
	各コマにおける授業予定	シャドーイング⑩ 誘う②				
第19回	授業を通じての到達目標	相手や状況に応じて、表現を使い分けて、誘って、答えることができるようになる。		使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
	各コマにおける授業予定	シャドーイング11 誘う③				
第20回	授業を通じての到達目標	これまでに習った文法や表現を復習し、適切な場面で適切に使えるようになる。		使用教材から抜粋	各授業までに習った語彙の復習を覚えておいてください。	
	各コマにおける授業予定	総まとめ				